



平成28年3月1日発行
発行所
滋賀県立彦根東高等学校
金 亀 会
滋賀県彦根市金亀町4-7
TEL & FAX0749-23-0888

印刷所
(株)ビコハン
彦根市城町1丁目4-12

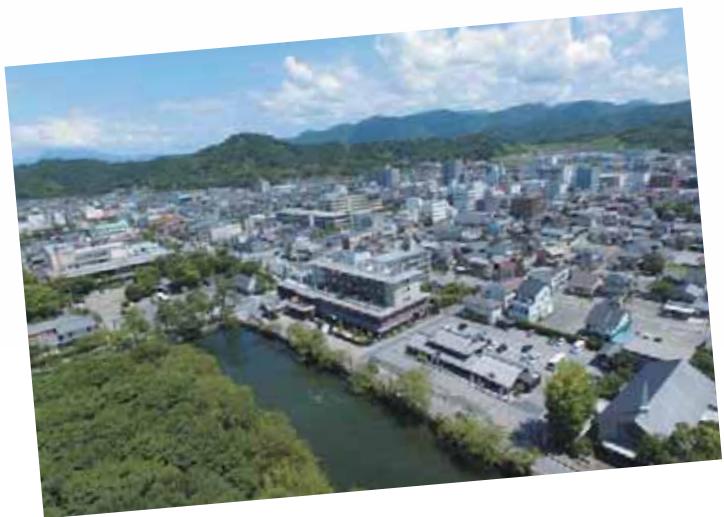
金亀会報



▲改修工事が完成した校舎全景



▲校舎裏側から彦根城を望む



▲テニスコート上空から佐和山を望む

▶グランド上空からの彦根城正面



以上の写真は、株式会社文教スタヂオ様所有のドローン
によって2015年8月24日に撮影されたものです。



ア
あ
い
さ
つ

金龜會會長
細江正人

人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に、国は地方創生を大命題に掲げ、自治体は産官学金労言を総動員して総合戦略を策定し、多くは交流人口の拡大を目標にそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生できるよう摸索しています。母校の地・彦根・湖東・滋賀県も同様であります。都会に在住し、世界を股にかけてご活躍の同窓諸兄に申し上げます。我々の同窓というホットラインは、瞬時にスキームを実行に移すことができます。ふるさとの山里・家屋敷に思いを馳せていただき、いま何ができるか、何をすべきかを考え、実践していただこうとをお願いいたします。

さて、母校彦根東高等学校は今年平成28年度に創立140周年を迎えます。

当会報の裏表紙に案内のとおり、10月16日・日曜日に記念式典を挙行いたします。万障繰り合わせてご参加いただきますようお願い申し上げます。

記念事業の詳細につきましては金龜会常任理事会で協議し、総会において出席の皆様に報告させていただきたいたいと存じます。財源につきましては、記念事業のために積み上げてきました基金を取り崩す予定をしております。

昨年のこの会報でお願いいたしました賛助会費に800人余の同窓にご賛同いただき、お陰様で545万円を上積み計上することができます。誠にありがとうございます。140周年事業についてはあらためての募金は考えておりませんので、本



ごあいさつ

滋賀県立彦根東高等学校長
青木靖夫

金龜会会員の皆様には、平素より
本校の教育活動の推進に、ご理解と
ご協力を賜わり、誠にありがとうございます。
ざいます。

今年度の彦根東高校の状況につい
て説明させていただきます。

平成27年度の新入生は、全日制8
クラス320名で、全校生徒は、全
日制で24クラス957名、定時制で
2クラス29名です。定時制は、県立
高等学校再編計画により平成28年度

末に閉課程となるため、今年度新入生は募集しておりません。全日制の男女比は57対43となっています。

学校は、昨年度に完成しました新校舎のもと教育活動の充実に努めておりましたが、前期は4月の1年生住泊オリエンテーションを皮切りに、6月の学園祭、8月には3年生進学合宿や1、2年生の東大・京大オーブンキャンパスなど、例年どおり進学支援を中心に実施しました。

部活動については今年度も多くの運動部・文化部が近畿大会や全国大会に出場しました。特に、今年は滋賀県で全国高等学校文化祭「2015びわ湖総文滋賀」が開催された関係で、文化部の活躍が目立ちました。新聞部が「2015びわ湖総文滋賀」で8年連続最優秀を受賞し、全国新聞コンクールでも全国2位となる朝日新聞社賞を受賞しました。さらに、

文武両道・自主自律をさらに進め、学校の充実発展に努めてまいりたいと考えております。今後とも、金龜会会員の皆様には、お力添えを賜わりますようお願い申し上げますとともに、皆様方のご健康とご活躍を祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

年も前年に引き続き、賛助会費をお願い申し上げます。還暦を過ぎた方で、すでに終身会費を納入されている会員に賛助会費の振込用紙を同封させていたしました。また周年の同窓会や個人からの特段のご懇意はお難くお受けいたします。

また、金龜会総会は裏表紙に告知のとおり、母校において毎年5月の第4日曜日に開催しております。参加いただきたい皆様に実り多きものになるよう、その世界で活躍している同窓生に講演を願つており、今回は東第24回卒澤田康彦氏（「暮らしの手帖」編集長）に講演いただきます。懇親会はミニ同窓会にもなるようなセッティングになつておりますので、お誘い合わせ、申込みのうえ、是非ご出席ください。

当日は先行して地元の彦根・湖北東・

ドアーラーク半蔵門を会場に故郷滋賀の产品をおみやげに用意して盛大に開催していただいております。「東海金龜会」は、毎年6月第3日曜日、「名古屋国際ホテル」において和やかにかけております。どうぞ各地の支部総会にも積極的に参加していただき窓の紺を深めていただければと念じております。

同窓という、意識すれば確かな絆で結ばれた繋がりがあります。今一度、会の基盤強化と発展を願いより一層のご指導ご鞭撻をお願いいたします。

「チャレンジ」の3つのプログラムからなり、「モチベーション・プログラムでは、国や大学、企業あるいは国際機関などで活躍している方々に講演やディスカッションをしていたときました。特に、第1回では早稲田大学政治経済学術院教授の白木三秀氏、第3回では総合教養講座の講師として6名の先輩方、また第7回では卒業生の三重大学医学部講師の岸和田昌之氏など多くの卒業生の方々に講師をしていただきました。

さらに、文部科学省から指定を受けており、ます「スーパーサイエンス・ハイスクール（SSH）」は3期目4年目となり課題研究の改善・充実を図るとともにSSHコース以外の理系・文系生徒を対象とした事業を拡大し

また、今年度から県内の高校としては初めて土曜授業（年間9回）を開始するとともに、新しい取組みとして「リーダーシッププロジェクト」を実施しました。これは将来社会に出てリーダーとして活躍してくれることを期待して立ち上げた企画です。「モチベーション」「グローバル」

「チャレンジ」の3つのプログラムからなり、モチベーションプログラムでは、国や大学、企業あるいは国際機関などで活躍されている方々に講演やディスカッションをしていました。特に、第1回では早稲田大学政治経済学術院教授の白木三秀氏、第3回では総合教養講座の講師として6名の先輩方、また第7回では卒業生の三重大学医学部講師の岸和田昌之氏など多くの卒業生の方々に講師をしていただきました。

さらに、文部科学省から指定を受けており、スープラーサイエンス・ハイスクール（SSH）は3期目4年目となり課題研究の改善・充実を図るとともにSSHコース以外の理系・文系生徒を対象とした事業を拡大しました。

また、海外研修を夏・冬2回実施し、特に昨年度3月に訪問しました。アメリカメーン州の理数系高校MSMとの交流はさらに発展させ、1月にアメリカから13名の高校生・教職員が本校を訪問しました。3月末にはこちらから13名の生徒・教職員がアメリカを訪問する予定です。今後も授業や課題研究などで相互の交流を深め、将来的には日米の高校生による共同研究に結びつけたいと考えております。

運動部・文化部が近畿大会や全国大会に出場しました。特に、今年は滋賀県で全国高等学校文化祭「2015びわ湖総文滋賀」が開催された関係で、文化部の活躍が目立ちました。新聞部が「2015びわ湖総文滋賀」で8年連続最優秀を受賞し、全国新聞コンクールでも全国2位となる朝日新聞社賞を受賞しました。さらに、

運動部では陸上競技やり投げでインターハイ、国体と連続出場を果たし、特に国体では全国12位の記録を残しました。また、11月に行われたボートの近畿大会では女子ダブルスカル（二人乗り）が2位に6秒以上の大差をつけ優勝を果たしました。他にも陸上、弓道、水泳、卓球の各部が近畿大会に出場しました。

また、野球部は、春の近畿大会で全国優勝を何度も果たしている強豪大阪桐蔭高校を接戦の末破りビスト4となり、多くの公立高校を勇気づける快挙を成し遂げました。

以上、本校の状況について説明させていただきましたが、来年度は創立140周年を迎えることから、校内において実行委員会を組織し事業の準備に取り組んでおります。平成28年10月16日には、ひこね市文化プラザ等を会場に記念式典が予定されており、在校生・教職員も全員出席させていただきます。式典では記念講演として前京都大学総長で理化学研究所理事長の松本紘氏にご講演いただく予定です。

今後も東高校の輝かしい伝統を受け継ぎながら、土曜授業やリーダーシッププロジェクトなどに取組み、文武両道・自主自律をさらに進め、学校の充実発展に努めてまいりたいと考えております。今後とも、金龜会会員の皆様には、お力添えを賜わりますようお願い申し上げますとともに、皆様方のご健康とご活躍を祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

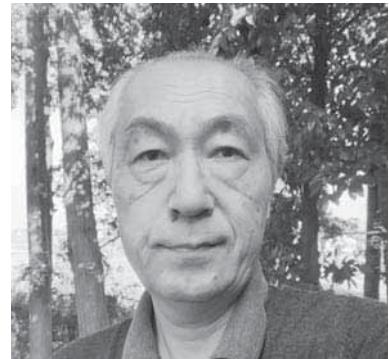
この度 金龜会報の原稿の依頼を受けましたとき、東高の定時制が来年三月限りでなくなるということをお聞きして、感慨深いものがありました。

ちょうど四半世紀も前のことになりますが、わたしは四〇歳で定期課程に転任しました。初出勤の日、先輩の先生の案内で校内を回ったときの情景が、はつきりと蘇ってきます。

以来、一三年という年月を過ぎすことになり、わたしの中ではいつも長い勤務校となりました。勤めて二年目くらいの頃、県北部の定期制高校を統廃合するという話があり、すぐにでも実施するような空氣でしたが、ちょうどバル経済が弾けた時期で財政的な問題などもあつたのか、いつしか立ち消えとなっていました。それが今に至つてようやく実現したということになります。

一三年の間にはさまざまな出来事がありました。始めのころには毎週のように何か事件が起こることもあり、まだ慣れないな

恩師だより



プロフィール

昭和二五年（一九五〇年）愛長男として誕生。

昭和五〇年、仏教大学卒業。

昭和五一年から国語の教員として、栗東高校に三年間勤務。昭和五四年から一年間、水口東高校勤務。文芸部顧問が長かった。

た。
平成二年から一三年間、彦根東高校定時制に勤務。

平成一五年から八年間、米原高校に勤務。
平成二三年三月、東北大震災の直後に、定年退職。

トレードをしたりと、パソコンを定年後は、ブログを書いたり、相手にする時間が増えている。

弄されていたものでした。

しかし、定時制は修業年限が四年と長く、また生徒数も少ないの

生徒諸君とのつきあいもだんだんと密になり、彼らの正直な氣

。を知つて、いくようにもなります。七年がすぎたころ、苦労して業していく生徒たちに何か思ふこととなる、記念となるものを遺すやれないかと、「卒業記念文を作り始めました。

時制の四季」と題していくつか句を作りました。

花見客の中すり抜けで夜学の門
春の窓辺 城山よりの鐘の音
疲れたる眼を開けている春の宵
深海魚のごと夏の夜の廊下来る
給食の鰯を煮る香の漂い来
一葉落つ 休学告げに来し親子
遅刻して夜学の窓の灯を目指す
校門の夕闇に吐く息白し
食堂への途 紅白の梅の花
穏やかなまなざしとなり卒業す

定時制全職員



定時制の閉校に際して

— 村善治 —

当時、わたしはある結社の句会に出席するようになつていましたので、拙いながらこのような句を載せたのでした。定時制の生活の一端に思いを馳せていただければ幸いです。

楽しいだけの高校生活ではなく、仕事や遊びと、充実した四年間。それに他の高校では絶対に経験できない事も、この定時制は教えてくれたと思います。」卒業生のみなさんには共通する思いが綴られていたのではないでしようか。

たくさんの卒業生が思い出を綴つてくれましたが、その中で一人の卒業生の率直な文章を紹介させていただいて、定時制に学んだ頃を偲ぶよすがとしていただけだと思います。

「四年前に入学して、今年やつと卒業という終着点を迎える。いろいろな出来事とともに、思い出

彦根東高校の定期制課程は、昭和二三年（一九四八年）に創設されました。そして来年三月をもつて、その六八年の歴史に幕を閉じます。定時制に在学、あるいは在職したものにとつては寂しい限りです。



生活体験発表大会

もう多くできた四年間だった。あまりふりかえりたくない事もありましたが、自分で満足のいく高校生活を送れたような気がする。

時々、いや、いつもやめてしまつたら楽になるんやろなと思いながら、学校に登校していたことも事実。友達がいてくれたから頑張ることもできた。人にはできて自分にできないと悔しいという気持ちがあつたからこそ、今の自分がここにいるのだと思う。言い方は汚いかも知れないけれど、この気持ちがこれから一人で生きていく中で、一番大事な事だと僕は思います。

はまたいくつかの句会に参加するようになり、このごろはますますその魅力に嵌まっているような次第です。

他に定年後の楽しみの一つとしてテニスをやっておりますが、思えばこれも定時制在職中に習い覚えたものでした。



卒業生とのスナップ

記念講演

「やつてみなはれが世界にはばたく」

岡村 美孝 氏(東17)



今年度の記念講演では、サントリーホールディングス㈱経営顧問で、雲雀丘学園中高等学校長もされておられる岡村美孝先生をお招きました。

先生は昭和44年(東17回)に本校を卒業され、大阪市立大学を経て、昭和48年サントリーホールディングス㈱を経て、昭和48年サントリーホールディングス㈱を経て、昭和48年サントリーホールディングス㈱に入社。営業部一筋で活躍され、新宿・銀座支店長を始め各種営業本部長をされています。平成22年にはサントリーホールディングス㈱代表取締役社長に就任され、平成26年から現職を務められています。

先生は現在、今までの企業社会の場から、教育と人材育成の場へと活躍の場を転換されながらエネルギッシュに奮闘されているところです。

講演に先立ち、講師紹介とし

て同学年の川上健司氏より、先

講演では、NHK連続テレビ小説「マッサン」にも登場するサントリーホールディングス㈱の創業者鳥井信治郎氏の「やつてみなはれ」精神がどのように表現されたかを具体的に分かり易く教えていただきま

した。

ビール業界における販売シェア推移のグラフを使って、絶頂期にあぐらをかいたキリンと地獄を見たアサヒの長年の熾烈な攻防、そしてバブル期のラガードスープードライの駆け引きをつぶさに聞かせていただきました。「絶頂期がもつとも危険な時」「地獄を見ないと立ち上がりたくない」という教訓には企業経営はもちろん人生全体にも通じる示唆に富んだ内容があります。

会員は次のとおりです。

手で新体制が選出されました。なお、平成27・28年度の金龜会員は次のとおりです。

創立140周年記念事業実行委員会の報告に続いて議事に入りました。平成26年度事業計画案・予算案が審議され、何れも全会一致で承認されました。また、本年度は役員改選の年度にあたり、役員選考委員より会長・顧問・副会長の全員の留任と一部会計及び常任理事の変更と新任が報告され、満場の拍手で新体制が選出されました。

なお、平成27・28年度の金龜会員は次のとおりです。

会員は次のとおりです。

会員は次の

関 西 金 亀 会

事務局長 藤井長弘（東27）



第25回関西金亀会歴史街歩き会「淀川歴史探訪の旅」2015.5.25

の解説を聞きながら、また、往時の「三〇石舟唄」を聞きながら、舟運の歴史を学ぶことがであります。さらに、一月四日に遅く、一七九名の方にご参加いただきました。いずれのときにも、「歩こう会」の終了後に学年ごとに懇親会を行つておられるようです。

また、「ゴルフ同好会」では、会員の皆様

のご協力のもと、年二回のコンペを開催しておられます。昨年は、六月四日と一〇月二二日

に、いずれも瀬田ゴル

フコースにおいてコン

ペを開催しました。

ところで、本年は関西金亀会の総会を予定し

ております。関西金亀

会の総会は二年ごとに開催しており、来る六月一日（土）正午か

ら、ホテル阪神一〇階

ボーリルームにて執り行います。

ゲスト講師には、東近江市長の

小倉正清さん（東一八回）をお

招きして、木地師の里として知られる源永寺の歴史についてご

講演いただく予定です。会員の

皆様には奮ってご参加いただき

ますようお願い致します。

関西金亀会では、今後も学年

の二部会が、各会の幹事様にお

世話を戴き、常日頃から活動して

おります。

「歩こう会」では、昨年五月

に、「川からながめる淀川舟運」

と銘打つて、枚方公園から天満

まで淀川クルーズを企画してい

ただきました。延べ一九八名も

の多数の方から参加希望をいた

だ、水上バスの収容人数を超

えたこととなりましたので、急

に分散しての開催となりまし

た。乗船したまま毛馬閘門を通

過するなど淀川の歴史について

には、姫路城の探訪を行い、一七九名の方にご参加いただきました。さらに、一月四日には、姫路城の探訪を行つた結果、いく年ごとに懇親会を行つておられるようです。

平成一七七年 東海金亀会報告

事務局長 孫工昇嗣（東11）

平成二十七年六月二十一日「東海金亀会」の二十七年度定例総会が、名古屋国際ホテルで開かれました。母校から金亀会細江会長、青山副校長のご来賓をお迎えし、会員三十九名が出席しました。前年度の事業報告・会計報告・監査報告などの後、役員改選を行い、2期4年会長を務めてきた寺倉会長が退任され、丸本洋之助副会長（東7）が新しい会長に就任されました。記念講演会では、「高齢者と災害」を題して、愛知工業大学工学部教授建部謙治さん（東17）が講演されました。先生は、最近高齢されました。先生は、最近高齢者福祉施設で火災が多く発生している、こうした施設で火災が発生すると、体の不自由な人が多い施設で多くの犠牲者が出て

いること、また東日本大震災でも、津波等で高齢者施設の多くで死者が出た実例を報告されました。先生は高齢者施設と共に

で図上訓練を行つた結果、いくつもの課題が出て、改めて日々から避難計画や避難訓練をする必要性を訴えられました。出席

員も他人事でないことを実感し、有意義な講演になりました。

ゴルフ大会は毎年二回開会さ

れ、五月十三日に関ケ原カントリークラブで開かれ、山口光秀さん（東14）が優勝されました。

また九月三十日には岐阜関カントリークラブで、土井勝朗さん（東9）が優勝されました。

十一月六日、第三回「歴史探

訪ウォーキング」が岐阜県大垣市で開かれました。大垣市は湧水も

多く水の都として知られています。また松尾芭蕉の「奥の細道」

の結びの地としても知られています。会員など二十六人が参加

ます。会員など二十六人が参加

し、ガイドの案内で水門川にそ

つて進みました。十一時頃から

雨脚がひどくなり、午前中の日

の「奥の細道結びの地記念館」

に走りこみました。昼食の弁当

を頂き、記念館の見学を済ませましたが、残念ながら午後の予

定は中止となりました。

新しい丸本会長の元、役員一

同東海金亀会の発展のために努

めさせていただきます。皆様の

ご協力をお願ひいたします。

当支部には、滋賀県下にお住

まい又はお勤めの卒業生はどな

たでも入会（年会費1,000円が必要）できます。「秋の集い」など支部事業の案内をお送りしますので、ぜひこの機会に

お誘い合わせになつてご入会ください。入会を希望される方は、

次の連絡先まで、お名前と卒業

年度を記入してお送りください。

折り返し、支部案内をお送りします。

講義室からお座敷に場所を替

え、根尾地区の特産品を使用し

た郷土料理で懇親会を行いました。晚秋の温泉地ということも

あってか、いつもの秋の集いより、少しだけゆっくりと時間が流れていると感じたのは私だけではなかつたような。

当支部には、滋賀県下にお住

まい又はお勤めの卒業生はどな

たでも入会（年会費1,000円が必要）できます。「秋の集い」など支部事業の案内をお送りしますので、ぜひこの機会に

お誘い合わせになつてご入会ください。入会を希望される方は、

次の連絡先まで、お名前と卒業

年度を記入してお送りください。

折り返し、支部案内をお送りします。

講義室からお座敷に場所を替

え、根尾地区の特産品を使用し

た郷土料理で懇親会を行いました。晚秋の温泉地ということも

あってか、いつもの秋の集いより、少しだけゆっくりと時間が流れていると感じたのは私だけではなかつたような。

当支部には、滋賀県下にお住

まい又はお勤めの卒業生はどな

たでも入会（年会費1,000円が必要）できます。「秋の集い」など支部事業の案内をお送りしますので、ぜひこの機会に

お誘い合わせになつてご入会ください。入会を希望される方は、

次の連絡先まで、お名前と卒業

年度を記入してお送りください。

折り返し、支部案内をお送りします。

講義室からお座敷に場所を替

え、根尾地区の特産品を使用し

た郷土料理で懇親会を行いました。晚秋の温泉地ということも

あってか、いつもの秋の集いより、少しだけゆっくりと時間が流れていると感じたのは私だけではなかつたような。

当支部には、滋賀県下にお住

まい又はお勤めの卒業生はどな

たでも入会（年会費1,000円が必要）できます。「秋の集い」など支部事業の案内をお送りしますので、ぜひこの機会に

お誘い合わせになつてご入会ください。入会を希望される方は、

次の連絡先まで、お名前と卒業

年度を記入してお送りください。

折り返し、支部案内をお送りします。

講義室からお座敷に場所を替

え、根尾地区の特産品を使用し

た郷土料理で懇親会を行いました。晚秋の温泉地ということも

あってか、いつもの秋の集いより、少しだけゆっくりと時間が流れていると感じたのは私だけではなかつたような。

当支部には、滋賀県下にお住

まい又はお勤めの卒業生はどな

たでも入会（年会費1,000円が必要）できます。「秋の集い」など支部事業の案内をお送りしますので、ぜひこの機会に

お誘い合わせになつてご入会ください。入会を希望される方は、

次の連絡先まで、お名前と卒業

年度を記入してお送りください。

折り返し、支部案内をお送りします。

講義室からお座敷に場所を替

え、根尾地区の特産品を使用し

た郷土料理で懇親会を行いました。晚秋の温泉地ということも

あってか、いつもの秋の集いより、少しだけゆっくりと時間が流れていると感じたのは私だけではなかつたような。

当支部には、滋賀県下にお住

まい又はお勤めの卒業生はどな

たでも入会（年会費1,000円が必要）できます。「秋の集い」など支部事業の案内をお送りしますので、ぜひこの機会に

お誘い合わせになつてご入会ください。入会を希望される方は、

次の連絡先まで、お名前と卒業

年度を記入してお送りください。

折り返し、支部案内をお送りします。

講義室からお座敷に場所を替

え、根尾地区の特産品を使用し

た郷土料理で懇親会を行いました。晚秋の温泉地ということも

あってか、いつもの秋の集いより、少しだけゆっくりと時間が流れていると感じたのは私だけではなかつたような。

当支部には、滋賀県下にお住

まい又はお勤めの卒業生はどな

たでも入会（年会費1,000円が必要）できます。「秋の集い」など支部事業の案内をお送りしますので、ぜひこの機会に

お誘い合わせになつてご入会ください。入会を希望される方は、

次の連絡先まで、お名前と卒業

年度を記入してお送りください。

折り返し、支部案内をお送りします。

講義室からお座敷に場所を替

え、根尾地区の特産品を使用し

た郷土料理で懇親会を行いました。晚秋の温泉地ということも

あってか、いつもの秋の集いより、少しだけゆっくりと時間が流れていると感じたのは私だけではなかつたような。

当支部には、滋賀県下にお住

まい又はお勤めの卒業生はどな

たでも入会（年会費1,000円が必要）できます。「秋の集い」など支部事業の案内をお送りしますので、ぜひこの機会に

お誘い合わせになつてご入会ください。入会を希望される方は、

次の連絡先まで、お名前と卒業

年度を記入してお送りください。

折り返し、支部案内をお送りします。

講義室からお座敷に場所を替

え、根尾地区の特産品を使用し

た郷土料理で懇親会を行いました。晚秋の温泉地ということも

あってか、いつもの秋の集いより、少しだけゆっくりと時間が流れていると感じたのは私だけではなかつたような。

当支部には、滋賀県下にお住

まい又はお勤めの卒業生はどな

たでも入会（年会費1,000円が必要）できます。「秋の集い」など支部事業の案内をお送りしますので、ぜひこの機会に

お誘い合わせになつてご入会ください。入会を希望される方は、

次の連絡先まで、お名前と卒業

年度を記入してお送りください。

折り返し、支部案内をお送りします。

講義室からお座敷に場所を替

え、根尾地区の特産品を使用し

た郷土料理で懇親会を行いました。晚秋の温泉地ということも

あってか、いつもの秋の集いより、少しだけゆっくりと時間が流れていると感じたのは私だけではなかつたような。

当支部には、滋賀県下にお住

まい又はお勤めの卒業生はどな

たでも入会（年会費1,000円が必要）できます。「秋の集い」など支部事業の案内をお送りしますので、ぜひこの機会に

お誘い合わせになつてご入会ください。入会を希望される方は、

次の連絡先まで、お名前と卒業

年度を記入してお送りください。

折り返し、支部案内をお送りします。

講義室からお座敷に場所を替

え、根尾地区の特産品を使用し

た郷土料理で懇親会を行いました。晚秋の温泉地ということも

あってか、いつもの秋の集いより、少しだけゆっくりと時間が流れていると感じたのは私だけではなかつたような。

当支部には、滋賀県下にお住

まい又はお勤めの卒業生はどな

たでも入会（年会費1,000円が必要）できます。「秋の集い」など支部事業の案内をお送りしますので、ぜひこの機会に

お誘い合わせになつてご入会ください。入会を希望される方は、

次の連絡先まで、お名前と卒業

年度を記入してお送りください。

折り返し、支部案内をお送りします。

講義室からお座敷に場所を替

え、根尾地区の特産品を使用し

た郷土料理で懇親会を行いました。晚秋の温泉地ということも

あってか、いつもの秋の集いより、少しだけゆっくりと時間が流れていると感じたのは私だけではなかつたような。

当支部には、滋賀県下にお住

まい又はお勤めの卒業生はどな

たでも入会（年会費1,000円が必要）できます。「秋の集い」など支部事業の案内をお送りしますので、ぜひこの機会に

お誘い合わせになつてご入会ください。入会を希望される方は、

次の連絡先まで、お名前と卒業

年度を記入してお送りください。

折り返し、支部案内をお送りします。

講義室からお座敷に場所を替

え、根尾地区の特産品を使用し

た郷土料理で懇親会を行いました。晚秋の温泉地ということも

あってか、いつもの秋の集いより、少しだけゆっくりと時間が流れていると感じたのは私だけではなかつたような。

当支部には、滋賀県下にお住

まい又はお勤めの卒業生はどな

たでも入会（年会費1,000円が必要）できます。「秋の集い」など支部事業の案内をお送りしますので、ぜひこの機会に

お誘い合わせになつてご入会ください。入会を希望される方は、

次の連絡先まで、お名前と卒業

年度を記入してお送りください。

折り返し、支部案内をお送りします。

講義室からお座敷に場所を替

え、根尾地区の特産品を使用し

た郷土料理で懇親会を行いました。晚秋の温泉地ということも

あってか、いつもの秋の集いより、少しだけゆっくりと時間が流れていると感じたのは私だけではなかつたような。

当支部には、滋賀県下にお住

まい又はお勤めの卒業生はどな

たでも入会（年会費1,000円が必要）できます。「秋の集い」など支部事業の案内をお送りしますので、ぜひこの機会に

お誘い合わせになつてご入会ください。入会を希望される方は、

次の連絡先まで、お名前と卒業

年度を記入してお送りください。

折り返し、支部案内をお送りします。

講義室からお座敷に場所を替

え、根尾地区の特産品を使用し

た郷土料理で懇親会を行いました。晚秋の温泉地ということも

あってか、いつもの秋の集いより、少しだけゆっくりと時間が流れていると感じたのは私だけではなかつたような。

当支部には、滋賀県下にお住

まい又はお勤めの卒業生はどな

たでも入会（年会費1,000円が必要）できます。「秋の集い」など支部事業の案内をお送りしますので、ぜひこの機会に

お誘い合わせになつてご入会ください。入会を希望される方は、

次の連絡先まで、お名前と卒業

年度を記入してお送りください。

折り返し、支部案内をお送りします。

講義室からお座敷に場所を替

え、根尾地区の特産品を使用し

た郷土料理で懇親会を行いました。晚秋の温泉地ということも

あってか、いつもの秋の集いより、少しだけゆっくりと時間が流れていると感じたのは私だけではなかつたような。

当支部には、滋賀県下にお住

平成26年度 金龜会一般会計収入支出決算報告書

(収入の部)

(単位：円)

予算科目	予算額	収入済額	差引額	備考
入会金	1,005,000	961,000	△44,000	在校生
会費	3,500,000	6,338,058	2,838,058	会費 終身 309人・年 219人 賛助会費 478人 3,127千円
雑収入	2,052,259	1,987,566	△64,693	名簿代、預金利息等 名簿発刊広告料収入等
繰越金	92,741	92,741	0	前年度繰越金
合計	6,650,000	9,379,365	2,729,365	

平成27年度 金龜会一般会計収入支出状況（12月末）

(収入の部)

(単位：円)

予算科目	予算額	収入済額	差引額	備考
入会金	987,000	938,000	△49,000	在校生
会費	4,400,000	3,337,870	△1,062,130	会費 終身 96人・年 110人 賛助会費 326人 2,331千円
雑収入	63,498	10,799	△52,699	名簿代、宛名シール、預金利息
繰越金	3,399,502	3,399,502	0	前年度繰越金
合計	8,850,000	7,686,171	△1,163,829	

(支出の部)

予算科目	予算額	支出済額	差引額	備考
事務費	107,000	75,457	31,543	消耗品等
通信費	140,000	97,246	42,754	電話代、郵送料
総会費	300,000	233,639	66,361	総会諸経費
会議費	140,000	54,960	85,040	常任理事会
旅費	120,000	114,850	5,150	支部総会
涉外費	600,000	632,953	△32,953	支部総会祝金
事業費	3,353,000	3,565,758	△212,758	会報印刷・発送、卒業記念品等
激励費	250,000	205,000	45,0000	全国大会出場激励金
繰出金	1,000,000	1,000,000	0	基金会計へ
予備費	640,000	0	640,000	
合計	6,650,000	5,979,863	670,137	

(支出の部)

予算科目	予算額	支出済額	差引額	備考
事務費	107,000	57,902	49,098	消耗品費
通信費	140,000	112,967	27,033	電話代、郵送料
総会費	300,000	171,987	128,013	総会諸経費
会議費	150,000	35,326	114,674	常任理事会
旅費	120,000	106,000	14,000	支部総会
涉外費	450,000	300,000	150,000	支部総会祝金
事業費	3,600,000	362,839	3,237,161	公孫樹印刷、印刷機リース代
激励費	250,000	140,000	110,000	全国大会出場激励金
繰出金	3,500,000	0	3,500,000	
予備費	233,000	0	233,000	
合計	8,850,000	1,287,021	7,562,979	

収入総額 9,379,365円－支出総額 5,979,863円＝残額 3,399,502円(平成27年度へ繰越)

収入総額 7,686,171円－支出総額 1,287,021円＝残額 6,399,150円

平成26年度 金龜会基金会计収入支出決算報告書

(収入の部)

(単位：円)

予算科目	予算額	収入済額	差引額	備考
繰越金	28,180,018	28,180,018	0	前年度繰越金
繰入金	1,000,000	1,000,000	0	一般会計より
寄付金	1,000	5,344	4,344	
返還金	124,506	124,506	0	東高新聞縮刷版刊行貸付金返還金
雑収入	3,476	2,711	△765	預金利息
合計	29,309,000	29,312,579	3,579	

平成27年度 金龜会基金会计収入支出状況（12月末）

(収入の部)

(単位：円)

予算科目	予算額	収入済額	差引額	備考
繰越金	26,312,579	26,312,579	0	
繰入金	3,500,000	0	△3,500,000	
寄付金	1,000	0	△1,000	
返還金	0	0	0	
雑収入	3,421	260	△3,161	
合計	29,817,000	26,312,839	△3,504,161	

※東高第12回卒業同窓会より「吹奏楽部楽器一式」(120万円相当)をご寄贈いただきました。

※東高第13回卒業同窓会より「天体観測機器一式および体育館スピーカー」(210万円相当)をご寄贈いただきました。

(支出の部)

予算科目	予算額	支出済額	差引額	備考
激励費	3,000,000	3,000,000	0	SSH海外研修激励金 (MSSM訪問研修費含む)
合計	3,000,000	3,000,000	0	

(支出の部)

予算科目	予算額	支出済額	差引額	備考
激励費	1,000,000	1,000,000	0	SSH海外研修激励金
合計	1,000,000	1,000,000	0	

収入総額 29,312,579円－支出総額 3,000,000円＝残額 26,312,579円(平成27年度へ繰越)

収入総額 26,312,839円－支出総額 1,000,000円＝残額 25,312,839円

平成26年度 会計監査報告書

平成26年度滋賀県立彦根東高等学校金龜会の一般会計及び基金会计について、各会計の決算書を基に関係諸帳簿、預金通帳及び収入支出証拠書類等の監査をしたところ、いずれも適正に処理されており、正確であったことを認めます。

平成27年4月23日

金龜会会計監査 橋本貢治印 川瀬勝彦印

寄稿の予約を是非お願いします。字数は14字×28行程度をお願いします。

会場はオーケラ17Fの会場アボロンにて、見晴らし誠に良く、夕刻の旅情を誘う。会は宴半ばにして早くも他のテーブルに出来かる人有り。女性幹事の活躍大である。どのテーブルにも女性が半分は同席していて、余計に盛り上がる。矢張り女性の「力」である。宴が予定の時間が来ても収まらず、ここで3年生当席となり歓談、アットト言う間に四時間が経ち、21時半西村浅弘君の閉会の挨拶で幕を下ろす。

東5回同窓会報告

大森修太郎(東5)

卒業生総数は395名ですが案内発送件数は300名で内75名が出席となりました。

当日は絶好の秋晴れ。2年前、高貴(後期)高齢者記念同窓会以来の再会は実に晴れやかなものとなりました。

会の途中、有志十数人はホテルのバスで学校見学をしました。見学に参加しないものは幹事撮影の校舎のビデオを見るなど改装なつた学校の姿を見、卒業アルバムや当時の学校新聞の記事に高校時代に戻つて、つきない話題に時を過ごしました。

2次会はホテル10階の力フエで晩秋の琵琶湖、彦根城を眺めながら近況を語り合いお互いに何時までも健康で、また三年後「八十歳翁寿記念総会」に再会することを約し散会いたしました。



人ごみに流されて 変わってゆく私の生き方を あなたは忘れないで

第五回卒・喜寿記念同窓会開催
昭和32年卒業、当年喜寿を迎える第5回卒業生は去る11月20日ビューホテルにて同窓会を開催いたしました。

少いものの、関西以外の遠方からも13名の参加者がありました。彦八会の同窓会は1980年に第1回を開催し、夏期オリエンピックの毎年に開催すること

平成27年11月24日彦八会の第12回目の同窓会を「ホテル平安の森京都」で開催しました。参加者は71名(男性39名、女性32名)で、従来より若干少ないものの、関西以外の遠方の乾杯の発声で宴会へと移りました。宴會中の余興として藤谷幹事代表挨拶のあと西川元庸君の乾杯の発声による江州音頭で1した。宴會を終了し、引き続き2次会

になつていたが、2000年以後そのルールも崩れ、近年は2年毎に熱海、彦根、京都の順に開催しています。

金福寺(こんぶくじ)、詩仙堂、八大神社を巡りました。

金福寺(こんぶくじ)、詩仙堂、八大神社を巡りました。

東高15回 同窓会開催

田原 達雄(東15)

次回は2年後彦根で開催されると知られる金福寺(こんぶくじ)、詩仙堂、八大神社を巡りました。

金福寺(こんぶくじ)、詩仙堂、八大神社を巡りました。

金福寺(こんぶくじ

昭和48年卒 還暦同窓会

窪田 昇(東21)



平成二十七年四月十二日、東二十一期生156人が彦根ビューホテルに集結しました。ほぼ一年がかりで計画、実行した「彦根東昭和48年卒業者還暦同窓会」です。当日参加者の他、カンパをしてくれた人への感謝の気持

ちや闘病中の同窓生に激励の意味を込めて送った写真集が17件という規模の同窓会になりました。

還暦にちなんで真っ赤な郷地のスーツを着てくる人、和服の麗人、ロス生活35年という人、「友よ」、「遠い世界に」、「Melody」、「虹と雪のバラード」、「卒業写真」、「明日にかける橋」、「あらわし」、「翼をください」といったBGMが流れる中、会は東高校歌、応援歌で一気に盛り上がりました。

数年前、障害や死生を乗り越えた経験をした仲の良い数人がゴルフをはじめたのがきっかけでした。徐々に好き寄りの参加者が増えました。そのうちの仲間が亡くなったり、追悼の集まりをしたりしました。恩師は、同級生は今頃どこで、どうしているのだという声も燎原の火のように広がって行きました。

ちょうど別の地域でも四国から出張してくる女傑を囲んで酒盛りが開かれるようになっていました。彦根・大阪・金沢・常陸から同級生が出張や旅行で出てくる度に集まつては安飲み屋で談笑しているうちに還暦同窓会をやりたいなという声が上がり始めました。森の奥深く、雨後の葉先の一滴が、糸のようにか細い湧水が、いつかたまりになつて流れだし、瀬を作り、大河になつてていく、そんな光景を見たようでした。

11月1日の午後、東高正門に集合し、改修された母校の見学会を開きました。生物講義室の階段教室からスタートし、本館の教室、体育館、部室、御座所、新築された特別講義棟などを見て回りました。参加者からは「なつかしい！」と歓声があがっていました。新聞部と男子バスケットボール部

東高37回 母校見学会と懇親会

川岸 真喜(東37)



の部活動も見学させていただき、有意義な見学会となりました。

途中から、お忙しい中、同級生で現職の東高教諭・鈴木久子先生も合流してくださり、在校生の活躍なども聞くことができ、たいへん盛り上りました。

夕方から、彦根駅前のグランドデューカホテルにて、懇親会をひらきました。

昭和26年4月には、グランド門の正面に立っていた大イチヨウの木が学校のシンボルとなっていました。学校にはイチヨウの葉のデザイン物が多くありました。私の友達である石川君(現愛荘町の石川医院長)はイチヨウの葉をデザインしたベルトバッケルを愛用しており、それは

團長・和田裕行君のエールで校歌、応援歌を大合唱。今年も盛会となりました。森岡孝子さん(の書による「朋有り遠方より来る」)のウェルカムボードが会に華を添えてくれました。

母校のイチヨウ & 東大のイチヨウの旅

田中清勝(東5)

東高校第五回卒業の同窓会(大森修太郎君幹事)は喜寿会となりました(2015.11.20)。私は埼玉県草加市から会場の彦根ビューホテルへ。77名と多くの参加者が集まり、昔話で花が咲きました。歓談の合間にホテルさんのご好意でホテルバスをお借りでき、有志で母校見学を行きました。その際は学校の

事務長を始め皆様が暖かく迎えて頂き、感謝しています。既に構内は耐震校舎が完成し、10年前に校舎が現在地から山間地へ移動するとの話がありました。今はその心配も無くなつて彦根城内に安住との事で一安心。天皇御坐所、門衛所も健在です。

私たち第5回卒業生が入学した昭和26年4月には、グランド門の正面に立っていた大イチヨウの木が学校のシンボルとなっていました。学校にはイチヨウの葉のデザイン物が多くありました。私の友達である石川君(現愛荘町の石川医院長)はイチヨウの葉をデザインしたベルトバッケルを愛用しており、それはこの石川君の実兄である菱澤徳太郎氏(故)は、東大医学部・同大学院卒(昭和41年卒)から東大病院へそして彦根市立病院内科医師を歴任されました。ところで、今回は、イチヨウの木を研究して精子発見という世界的偉業を成し遂げた研究者と、彦根市との繋がりを述べます。その研究を行つていたのは平瀬作五郎先生です。平瀬先生は多く語られることがありますが、それを疑問に思つた本間健彦さんがお調べになり、『イチヨウ精子発見の検証、平瀬作五郎の生涯』という本にして出版されました。その概要を記すと、ま



寄稿を希望する学年は遅くとも11月末までに、年明けに

着手されました。植物園は世界でも有数の歴史をもちます。その研究結果は論文となり、日本語・英語・フランス語・ドイツ語で世界に発表されました。その後、平瀬先生は41歳で東京大學を退官され、退官の2日後となる1897年9月10日に滋賀県尋常中学校教諭心得着任。1904年3月(明治37年)滋賀県第一中学校(尋常中学校改称)で体育の先生を兼任(文武教育の祖)石碑は2015年11月27日植物園で撮影。



全国総文団碁部門の会場



マスコットキャラクター「湖楠」(うみな)

の祭典」は、この夏、大いに盛り上がりを見せた。（彦根東高校新聞第450号より）

7月28日から8月1日にかけ
第39回全国高等学校総合文化祭
(総文)が「翔たとえ」創造の
翼で「きらめく湖から」をテーマ
に、滋賀県で初めて開催された。
初日の総合開会式では、滋賀
県の高校生が構成劇「うみの
こ」を上演した。本校からは多
数の文化部が出場し、新聞部が
8年連続で最優秀賞を受賞、囲
碁部が団体と女子個人で全国で
12位という結果を残した。運営
に携わり、準備を重ねてきた文
化部だけでなく、運動部の協力
も得て行われた高中生の「文化

平成27年1月の県の通知により、土曜日に授業を実施できようになりました。それをうけて本校では、今年度年間9回土曜授業を実施しました。

土曜授業を実施する週は、目火・金の7限を土曜の1限・限・3限に行います。その週全て6限で終わることになります。放課後の時間を部活動や面談に活かすこととしました。

土曜授業の4限は「リーダーシッププロジェクト」と名付け世界をリードする人材を育成することを目的とした取り組みを実施しました。その内容は左表の通りです。



滋賀で全国総文開催

進路指導課

綜合教養講座

4月18日 (土)	講演 「グローバル化の進展と世界経済の動向 一世界に通用するグローバルリーダーとは—」 講師 早稲田大学政治経済学院 教授 白木 三秀 氏
5月27日 (水)	講演 「日本列島と自然 一大学で学ぶ意味とその魅力—」 講師 京都造形芸術大学 学長 尾池 和夫 氏
9月12日 (土)	総合教養講座 生徒の興味関心に応じて6講座より選択 講師 本校のOB 6名
9月26日 (土)	講演 「法学部で学ぶ」 講師 京都大学大学院法学研究科 教授 土井 真一 氏
10月17日 (土)	講演 「科学と社会のより良きコミュニケーション」 —社会は科学に何を求めているのか— 講師 東京理科大学総合研究機構 教授 黒田 玲子 氏
11月14日 (土)	講演 「インターネットによる人権侵害」 講師 岐阜聖徳学園大学教育学部 教授 石原 一彦 氏
12月12日 (土)	講演 「リーダーシップについて」 講師 京都大学アメリカンフットボール部 監督 西村 大介 氏
	講演 「医療におけるリーダーシップについて」 —最難治癌に対する戦い「膠癌」といのちの贈り物「肝移植」— 講師 三重大学肝胆膵・移植外科 講師 医学博士 岸和田 昌之 氏
1月9日 (土)	ディスカッション 「困難な状況をどう打開するか」 講師 京都大学大学院法学研究科教授 土井真一 氏

さらにこの十年間の大きな変化の一つとして受験人口の推移があります。平成四年に高三だった受験生は121万人だったのに対し、現在の受験者数はその60%程度に過ぎません。ここに偏差値55近辺のいわゆるボリュームゾーンに位置する生徒の学習時間の減少も相まって、中堅大学への合格が容易になりつつあります。かつての受験では、「滑り止め」校を何校も受験しその度にはね返されることがありましたが、「下手の鉄砲数打ちや当たる」戦法はもはやあまり使われることもなく、自分が行つてもよいと思える大学だけを受験するようになってきました。選ばれる側から選ぶ側へとその意識も変わりつつあります。

大学側も、アドミッショントライシートを打ち出し、求める学生像を明確にし、その独自性を

今年度も九月二日（土）にキャリア教育の一環として、一、二年生を対象に社会の様々な分野で活躍中の先輩方による講演会を実施しました。

今年度も過去二年間同様に第三十九回（平成3年卒）の伊藤滋朗氏（日本医科大学精神科病院）のプロデュースのもと、ひ

☆お知らせ☆

◎特殊詐欺に注意！

特殊詐欺が多発し、架空請求詐欺の被害発生が認められていてるほか、息子を騙（かた）るオレし詐欺の電話が多発しています。犯人は会員名簿等を使つて、卒業者を狙つて電話をしてくる可能性があります。

家族や周囲の方、とくに高齢者の方には、被害に遭われないよう呼びかけをお願いします。

◎彦根東高百二十年史の販売について

彦根東高120年史を200円で販売しています。(ご希望の方は金電会事務局(0749-123-10888)までお申し込みください。



部活動

平成 27 年度大学合格者数

() 内は平成27年3月卒の現役

国公立大学		京都府立大	2	(2)
北海道大	2	(2)	京都府立医大	1 (1)
東北大	1	(1)	大阪市立大	3 (3)
千葉大	1	(1)	大阪府立大	8 (2)
お茶の水女子大	1	(1)	神戸市外大	2 (2)
東京大	1	(1)	国公立大合計	194 (138)
東京工業大	1	(1)		
金沢大	14	(11)	私立大学	
福井大	2	(1)	慶應大	4 (3)
信州大	2	(2)	中央大	2 (1)
岐阜大	7	(4)	東京理大	8 (3)
静岡大	8	(8)	法政大	1
名古屋大	7	(4)	明治大	6 (2)
名古屋工大	1	(1)	立教大	1
三重大	2		早稲田大	5 (4)
滋賀大	16	(13)	南山大	1
滋賀医大	9	(7)	京都産業大	30 (12)
京都大	7	(2)	京都女子大	22 (21)
京都教育大	1	(1)	京都薬大	6 (5)
京都工芸繊維大	5	(2)	同志社大	94 (58)
大阪大	16	(11)	同志社女子大	24 (16)
神戸大	16	(10)	佛教大	35 (30)
奈良女子大	1	(1)	立命館大	170 (102)
岡山大	2	(1)	龍谷大	53 (34)
広島大	8	(6)	関西大	26 (17)
名古屋市立大	1	(1)	近畿大	23 (11)
滋賀県立大	10	(10)	関西学院大	23 (6)
京都市立芸大	1		私立大合計	660 (414)



近畿大会で優勝した三國・北村ペア

近畿高校総合文化祭
全国囲碁選手権大会滋賀士
○男子個人 宮本泰太

滋賀県総合文化祭開幕部門

◆滋賀県吹奏楽コンクール
きらめき賞

十三年十一月二十四日第一回入学式が挙行され、定時制課程の幕が開きました。当時全国定時制高等学校数は1,193校で、生徒数は約17万人ありました。その翌年には、全国の定時制で学ぶ生徒数が約30万人にも膨れ、本校でも家計の維持のために働きながら学習する生徒が約20人にも及びました。その後戦後の昭和の時代を越えて、平成の時代を迎へ、勤労青少年の働きながら学ぶ時代から不登校経験者や中途退学者のもう一度学び直したい時代への質的な変容を遂げ、そして現在本校の生徒数は、2学年で28名となりました。社会の変革とともに歩んできたこの六十八年の間、諸先輩方が作られた幾多の歴史—その歩みを、私たちは何らかの形で残そうと考え、「定時制六十八年の歩み」の編集に取り組んでいるところです。編集を進めていきますと定時制での学業は、大変苦労をして仕事と学問を両立されておられたことが伺えます。日本経済が復興の道を歩んでいた昭和三十二年、当時の石田利一校長は、定時制で学ぶ生徒たちに次の言葉を残されています。

金龜会会員の皆様には、平素から
定期制の教育活動に御理解と御協力
を賜り厚く御礼申しあげます。

「世を渉ること浅ければ点淺も亦浅し。事を歴ること深ければ機械も亦深し。故に君子は其の練達ならんよ。」

最後の一節にある「自分の力で新しい道を切り開いて行く」ことは、当時の生徒に対してもだけでなく、今の定時制生徒にも培つてほしい力です。定時制は、これまで質的な変容を遂げてきましたが、今も昔も変わらず、その時代の多様化する社会の中、生徒個々が意義ある人生が送れるよう生徒一人ひとりに、「生きる力」を付けてあげることは私たち職員の使命だと考えています。生徒数は減りますが、今年度実施した教育活動を検証し、より主体的なものになるよう努めてまいります。

最後になりますが、金龜会会員の皆様には、一層の御理解と御支援を賜りますようお願いいたしますとともに皆様の御健康と御多幸を心よりお祈り申しあげます。

定时制

○全国高校新聞コンクール
朝日新聞社賞

創立140周年記念式典を行います

平成28年10月16日(日)



★記念式典（13時～13時50分）

於：ひこね市文化プラザ

★記念講演（14時～15時10分）

於：ひこね市文化プラザ

演題「科学力と日本」

講師 理化学研究所理事長

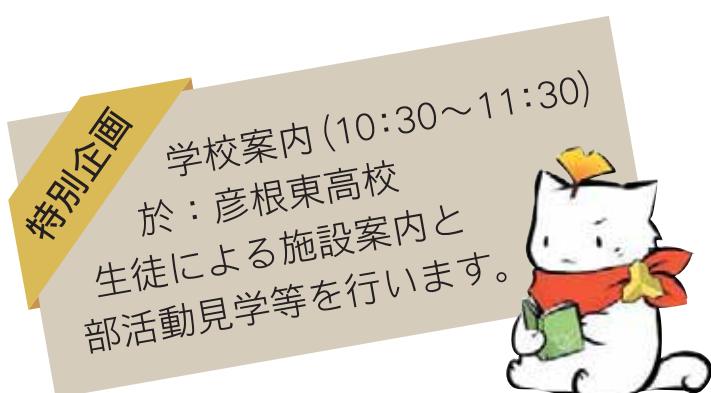
前京都大学総長 松本

紘氏

★祝賀会（17時30分～20時）

於：彦根ビューホテル

記念式典に出席を希望される方は、同封の返信はがき「創立140周年記念式典開催案内希望」の該当箇所に（○）を入れて、返信して下さい。
詳細の案内につきましては、返信はがきによってご希望の方だけに送付させていただきます。



17時より
＊懇親会



（会費 七千円（当日徴収）
グランドデュオクホテル
0749-24-1112）

●日時 平成二十八年 五月二十二日（日）

彦根・湖東・湖北支部総会
総会 14時（受付12時45分）
記念講演会 15時

●場所 彦根東高校木造校舎 多目的ホール

●講演 演題「暮らしの手帖」
講師 「暮らしの手帖」編集長

澤田康彦氏（東24回）

平成二十八年度
金龜会総会

彦根・湖東・湖北支部総会